

定例教育委員会会議録

令和6年10月29日

境港市定例教育委員会（令和6年10月29日委員会会議録）

招集年月日 令和6年10月29日 15時30分

招集場所 境港市役所 第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

教育総務課長 角 純 也

生涯学習課長 北 野 瑞 拓

教育総務課主査 柳 楽 力 人

教育総務課長補佐兼指導係長 築 谷 健 作

教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

提出議案 なし

協議事項 なし

報告事項 10月の行事報告、11月の行事予定

境港市民図書館の利用状況について

【1. 開会】

山本教育長 皆様お揃いのようなのでただいまから10月の定例教育委員会を始めます。

【2. 前回議事録承認】

【3. 議事】

山本教育長 本日は議決事項、協議事項ともありませんので、進行は事務局の方でお願いします。

【4. 報告事項】

事務局 それでは、報告事項・行事予定について、教育総務課、生涯学習課からお願いします。

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

※柳楽主査より 小学校運動会、西部地区秋季総体、連合科学作品展、就学時健診、中P連教育を語る会、小P連教育懇談会、西部地区駅伝、子どもが伸びる授業づくりプロジェクト研究大会、連合音楽会、中学校文化祭、境港市中文祭、小学校学習発表会、芸術鑑賞教室、市小教研研究発表会等について説明

北野課長より 境港市トンド保存会総会、公民館まつり、決算審査特別委員会、全国（中国・四国）公民館研究大会、ねんりんピックはばたけ鳥取2024・境港市交流大会、高校駅伝大会、境港市表彰式、Sea 級グルメ全国大会 in 境港、境港市公民館活動研究大会、指定管理者選定委員会、境港市青少年意見発表会、第2回みんなで、つくる境港市民音楽祭、第8回地域学校協働推進フォーラム、境港文化のつどい等について説明

《図書館 利用状況等報告》

※資料配布

事務局 ただいまの行事報告・行事予定等について質問等ありますでしょうか。

山本教育長 文化ホールが、まだ外構が少し残っていますが、大方改修が終わりまして、11月1日に議会向けの内見をしようと、北野課長に計画してもらっています。ご都合がつけば委員の皆さんにも参加してもらってよいのでしょうか。

北野課長

そちらは議会を対象としているので、委員さんにはまた改めて、次回の定例教育委員会の後でもよいですし、内見していただけたらと思います。

山本教育長

私もまだ内側は見えていないのですが、外観が以前より開けた雰囲気になっています。

また、ねんりんピックが開催されまして、報道などでもありましたが、参加人数が54万人ということでした。鳥取県民が53万人ですから、それより多いです。たくさんの人に来ていただいて、お土産もたくさん購入していただきました。鬼太郎せんべいなどのお菓子が、準備分が足りなくなって、急いでお店から追加で持ってきていただいたり、郵便局も総出で配送業務を行ったりと、すごかったです。また、子どもたちが作ったのぼり旗がとても好評で、北野課長からも、感謝状を贈りたいという話を聞きました。みんなで一生懸命それぞれのまちを調べて、その特産品を描くなどしてオンリーワンののぼり旗を作ってくれました。埼玉の方などは持って帰ってみんなに自慢しますというような言葉を残してくださいました。今度の校長会で、みんなで盛り立ててくれてありがとうということで、各学校にねんりんピックのメダルを配布して、子どもたちに見せてやってくださいとお伝えしようと思います。ねんりんピックは60歳以上の方の大会でしたけれど、みんなで作って、あたたかい、おもてなしに満ち溢れた大会だったというお言葉をいただきました。市長自らかに汁を作られたりもされていたので、本当によかったと思います。

事務局

そのほかいかがでしょうか。

十河委員

現在小学校で、トイレの改修工事が行われています。小P連の教育懇談会で何年も前からお願いしていたことがようやく実現して、とてもうれしく思っています。私は渡小学校のあいさつ運動に参加するなど、いろいろな場面で朝に学校へ行くのですが、工事業者が現場に入る時間が、児童の通学の時間帯と被っていて、安全が確保できていないのではないかと考えています。業者の車が通るから子どもたちにどくように声をかけられたりされているようです。業者さんが現場に入る時間を30分

ずらすなどして、児童の登校時間を避けていただきたいというのが正直な気持ちです。渡小学校の場合は雨が降ると保護者さんが自家用車で送って来られることもあるので、自家用車で混雑して、そこに工事車両も入ってくるというような状況で、なかなか安全が確保できないのではないかと考えているところです。夏休みなど学校休業期間中に工事が終わってしまうのが一番だったとは思いますが、いつぐらいまで続くのかも伺いたいです。

角本補佐

トイレ改修工事につきましては、週1回業者との定例会を行っているのですが、その中でそのような話がなく、把握していませんでした。今後、外江小学校では第2期の工事がありますし、来年も残りの小学校で工事がありますので、また定例会で話をします。時間帯をずらすようにという話はしていたのですが、そういうことがあったということで、また改めて話をしようと思います。

十河委員

子どもたちが登校してくるときに工事の業者さんも一斉に入ってくるような状況です。外江小学校の場合は、登校時の入り口と業者さんの入り口が違ったり、そもそも通行止めになっていたりするので、配慮して入ってくるのだと思いますが、渡小学校の場合は入り口が同じでもものすごく混雑しますし、狭くて、子どもたちを待たせて車両が入ってくるという状況で、朝、少し心配かなというところがあります。

角本補佐

わかりました。また今後も気を付けていきます。ありがとうございます。

事務局

そのほかいかがでしょうか。

中田委員

言っているのかわからないのですが、小P連の教育懇談会、中P連の教育を語る会について、もうそろそろ内容について考えないといけないのではないかという印象を受けました。どこか形骸化してしまっているような、小P連、中P連、それから教育委員会、市、どこも責任がないような受け答えに感じてしまいました。PTAは学校の代弁者的なところで、通り一遍な内容がメインになってしまっており、教育委員会もまたそうい

ったわかりきったことで回答して、それを読み上げて終わりとなっています。あれだけの人数の方に集まっていたので、来てよかったと書いていただける会になるといいと思います。何か話が聞けるとか、話ができるとか、そういったことができる場であったら、もっと生きてくる会になるのもったいないなと感じています。一度コロナ禍で中断されて再開したばかりで、どんなことをやっていたか確認するところからの始まりなので、なおさら現状のような内容になってしまうのかもしれない。内容について再検討するにしても、本来は主催である小P連、中P連が進めるべきところだとは思いますが、なかなか難しいのではないかと思います。それならば、教育委員会のほうから相談して、今後の在り方を考えていただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

角課長

以前PTA会長を務めたことがあります。小P連、中P連の会長は毎年持ち回りで変わるので、2年連続で同じ人が務めるということがなく、しかも、5月か6月に総会を開催して、そこから8月末くらいまでに全体をとりまとめて要望を出すという結構タイトなスケジュールです。そのため、どうしても前年と同じような内容になってしまいます。今年もやはり、昨年とほとんど同じような要望がかなりあり、そうすると、教育委員会のほうも同じ回答をするようなことになってしまいます。そのため、もう少しやり方を変えてもらったりしたほうがいいのかなと思います。

中田委員

ただ、先ほど言ったように、小P連、中P連に会の内容の再検討をお願いしますと言っても、なかなか難しいのではないかと思います。小P連、中P連と学校が教育委員会にお願いしたいことを要望として出して、それに対して教育委員会が答えるという形式上、立場的にはやはり弱いということになってしまいますし、毎年人が変わっているために、どうしても過去のやり方を踏襲して、その年がうまくまとまってくれたらいいなという風になりがちだと思います。そういったことで、出席させていただいても、形骸化してしまっているという印象を受けてしまうのだと思います。繰り返しになりますが、せっかく夜の時間に都合をつけて皆様に集まっていたので、出席してよかったなと思ってもらえるような会ができれば、本

当の意味での教育懇談会、教育を語る会ということになるだろうと思います。現在は、文書でやり取りするような、事前に出された要望についての回答を読み上げるだけになっていて、特に今回は、回答に対しての意見が出てこなかったという場面がありました。やはり会の中で意思疎通できていないような状態があって、それが形骸化につながっているのかと思います。

北野課長

以前、小P連も中P連もどちらもしっかり関わらせていただいたのですが、以前は、要望に対する回答を持ち帰って各学校のPTAで議論する場があって、さらにすり合わせることをしていたと思います。小P連ではそのやり方が少し残っているので、おそらく教育懇談会でも質問がいろいろと出てきていたのだと思います。中P連の場合も以前は要望に対する回答を各中学校で持ち帰って議論していたというのがあるので、やはり回答を早めに返してもらって、各中学校のPTAで議論するなり、話を膨らませる時間が必要かなと思いました。やはり、回答に対してどういう意見があるかという、もうワンアクションが欲しかったなど、少し残念に思いました。せっかくあれだけの方が、PTAも市も教育委員会も皆さん集まってもらう場はそうそうないので、貴重な場だと思います。同じ要望を言い続けるのも、今回そのおかげでトイレ改修が実現したように、必要なことだと思うのですが、やはり議論して意見を膨らませるような、もうワンアクションが欲しかったというのが正直なところです。

山本教育長

今すぐにいい手立ては思いつかないですが、確かに、せっかくの集まる機会を実りの深いものにできずに終わっているのかもしれない。コロナ禍の後やっと会えるようになったのに、会える目的を達成できないというか、文書だけデータで送って読めばいいような内容になってしまっている気がします。会うということを前提に、やり取りができるような仕組みを一緒に考えませんかというようなスタンスで、教育委員会から小P連、中P連に、提案の形で話を持って行ってみます。市長に来てもらって意見を直接届けられる機会というのはすごく貴重なので、要望ももちろん大切ですし、ぜひ中身を濃いものにしたいというようなコンセプトで話をしてみたいと思います。主催の小P連、中P連に投げっぱなしで任せしめて、要望が昨年と同じ

だと思いながらも、結局同じように回答して終わりにしてしまっていた部分もあったかもしれません。それではもったいないので、出席してよかったと思える会にもっとできたらいいと思います。

渡邊委員

中P連の教育を語る会しか出席していないのですが、要望に対する回答を出す時期がもしかしたら遅いのではないかと思います。もう少し早く出せば、PTA側で再度議論する期間がとれるのかもしれませんが。

大部委員

要望に対する回答を作成するのも結構時間がかかるのではないかと思います。どれくらいかかるものなのでしょう。中P連の教育を語る会では、要望に対する回答を出したうえで再度やりとりをした結果どうなっているかを話すのかと思っていたのですが、要望に対する回答の資料の内容をそのまま読み上げるだけだったので、その後どういう経緯で物事が進んでいくのかが見えないかなと思いました。

私からも一ついいでしょうか。小P連の教育懇談会で、児童の机の修繕について要望が出ていました。昨年も同じ要望が出ていたのに、強いプッシュはありませんでした。もう机の修繕はいいのかなとか、毎年痛みが積みあがっていくのに解決しなくてもいいのかなとか、優先順位はどうかとか、いろいろ思いました。それで結局、口頭で言われたのは連合体育大会に参加する際にバスを出してほしいという要望でした。個人的にはせっかく交通安全教室で自転車の乗り方を教えて、市内で自転車に乗れるようになったのだから、教育の一環として自転車で行ったらいいのではと思ったのですが、そういう話にはならず、配慮やケアが必要という話が出て、でもお金の話をするとそこまでしてもらわなくてもいいですみたいな空気になって終わってしまっていました。そうなるのは、問題の定義の仕方が間違っているのではないかと思います。重要事項があって、それを子どもたちのためにどのように実現していくのか、というのが全然見えない会議になってしまっていると思いました。

山本教育長

小P連、中P連の会長さんだけに任せず、教育委員会の中で事務局的なところが必要なのかもしれませんが。会長さんは毎年持ち回りで務めるので、教育委員会と何度もやりとりをして深

めていくということが難しく、毎年手探りで進める状況になってしまうと思います。教育委員会の回答をただ読み上げるだけでは、参加した甲斐がないと思いますので、例えばグループで話し合う、教育委員にも入ってもらって、立場の違いから、それぞれが思いをぶつけあうようなところをつくるとか、何か変更が必要なのだと思います。

中田委員

話をするというより、やはり言葉にして出すということがそれぞれ参加していただいた皆さんにもあると、参加したという実感があると思います。それ以前の問題として、PTAと学校とでどれだけ話をしているのかというところが気になります。教育懇談会や教育を語る会は毎年のように開催されているのですが、それに向けて要望を出すにあたり、PTAと学校とでのやり取りがどれくらいできているのでしょうか。開催の案内が来てからのやり取りとなると、時間が限られてしまうので、去年出した要望を今年も出しておけばいいというようなことになりかねないと思います。それでは教育懇談会や教育を語る会も同じことの繰り返しになってしまうので、会を設営するにあたっての根本的な話し合いがどのようになっているのだろうかと思います。

十河委員

小P連、中P連の中でも、それぞれ中学校や小学校の会長などが集まって、そこでの議論がやはり必要かと思います。

大部委員

1年間で会長さんが変わられるのなら、自分の時はとりあえずこの要望を挙げました、で終わっているかもしれません。

十河委員

コミュニケーションがもう少し深まらないと、より前進したような形にはなっていないかなというのはすごく感じました。何か今までの形骸化した形ではなく、もっと前向きな何か改革ができるような形にはなっていないかもしれません。

中田委員

そういった話ができるような場があれば、こんなのはどう思いますかともっと投げかけていけるようになるのではないかなと思います。PTAや学校から上がってくる言葉ばかりではなくて、今、教育委員会でこういったことを考えているのですが皆さんはどう思いますか、ということをごんごん投げつけていける

ような、そんな場になってくるのだと思います。

渡邊委員

教育委員会側も、要望に対して何か回答を出さないといけな
いけれど、そう間違っただけとは言えないし、予算がかかること
だし、という風になっているのかもしれないと思います。先ほ
ど中田委員が言われていたように、回答は文書でやり取りでき
るなら文書回答で別に行って、会では他のことについて話し合
うという形でもいいのかもしれないと思います。例えば議論を深められ
るようなPTAの要望について考えると、学校で問題になって
いることについて議論してみるとかとなったらもう少し話が
変わってくるかもしれません。

中田委員

児童、生徒さんたちの顔が見えてこないような教育懇談会、
教育を語る会になってしまっていると思います。

山本教育長

市長が出席することで、教育委員会も違ったプレッシャーを
もっていると思います。だから迂闊な回答ができないと考えて、
それが形骸化を生む要因のひとつになってしまっているかもしれ
ません。教育の懇談を深めていくという、子どもを軸にした、
真ん中に置いた話し合いをしていくということから考えれば、
そういうことも含めて検討しないといけないかもしれません。

中田委員

学校から教育委員会に問題を挙げて、教育委員会は県にとい
うような、問題の投げあいみたいな形になってしまうと、結論
が出るはずがないと思います。

山本教育長

そうですね。やはり問題として挙がってきたものは、我々が
まず一番にしっかりと受け取っていかないとはいけません。

十河委員

今回教育長が、メディアについてのお話をされて、すごくい
いお話をされていたと思いますけれど、そのことについて保護
者さんもあれだけいらっしゃるので、どう思われますかと伺っ
てみるなど、もうワンアクションやり取りがあると、より深ま
るのではと思いました。

大部委員

教育懇談会や教育を語る会は、本来そういう話をするところ
なのではないでしょうか。現在はハード面の要望がほとんどな

ので、ハード面の要望は紙面でやりとりするとして、例えば不登校が多くなっているのはなぜなのかとか、児童クラブの利用希望者が増えているけれどどう運営していくのかとか、そういうことを話す場なのではないかと思います。

山本教育長

喫緊の課題も、数年かけて取り組むような課題についても、話し合う場が持てれば、またヒントをもらったり、他校の取り組みを参考にしたりもできると思います。ハード面の要望も重要ですが、先程おっしゃったようなソフト面について知恵を出し合えたらいいなと思います。例えば私が話したメディアから切り離す時間をもつことについても、ダメだからダメ、ということではなくて、家庭で1日1時間いろいろな話をする時間をもつなどの納得できるようなアイデアを出し合うことが実は今必要なのかもしれません。そういうことを、ハード面だけでなく言える環境づくりを検討してみたいと思います。今後、学校再編についてPTAの役員会を回ることになっていますので、そういう時に、教育懇談会や教育を語る会の流れについて形骸化がみられるので、一緒になって考えていきませんかという話を、柳楽主査にしてもらいます。どういう形に落ち着くのかは、私もいいアイデアがすぐ出ませんが、出席してよかった、PTAの活動をしてよかった、いい話を聞かせてもらってよかったという思いをもってもらわないといけないと思います。いい意見をありがとうございます。

事務局

そのほかいかがでしょうか（質問等なし）。
次回日程確認。

角課長

泉佐野市から境港市に、CSと部活動の地域以降について視察に来たいというお話がありまして、11月28日の14時から16時くらいまで視察をしていただくことになりました。もしその後の時間帯で定例教育委員会を行うようであれば、教育委員さんにもぜひ出席していただけたらと先方がおっしゃられています。名刺交換などの顔見せ程度で、少し雑談をする形になると思います。

山本教育長

泉佐野市は泉州タオルを生産しておりまして、綿花つながりということで、てぬぐいひらひらにも出店していただいています。

す。特産品相互取扱協定を結んでおり、支えあったり交流をしたりしています。そのつながりで泉佐野市から今回の視察の話がありました。泉佐野市からは、教育長と教育委員会委員の皆様、教育委員会事務局の方も来られるそうです。

角課長

最大9人来られます。

山本教育長

境港市は先行的に部活動の地域移行を行っています。またCSは中学校区ごとという、他ではあまり行っていない単位での取り組み方式です。他のところではほとんどが各学校単位で行っており、こういう仲間に巻き込むというような方法はすごく珍しい方法です。境港市の取り組みをよく調べてくださっていて、興味を持っていただいたようです。境港市は、伊平屋村のように一方的に交流を持たせていただいているところがありますが、国内の都市の中にあまり交流都市を持っていないので、そういうところでまたつながりができたらいいなと思っています。子どもたちが行き来するような学びの場所として、山陰の海を知ろうとか、だんじりについて知ろうとか、交流できるようになるといいなと夢が広がる思いがあります。委員の皆さんにも、もし都合がよろしければ、定例教育委員会の日程を視察の日に合わせていただいて、教育委員会同士で事前に交流ができればと考えています。詳細な計画はまだできていませんが、意見交換というか、少しでもお話ができればと思います。そういうつながりを向こうから言ってきてくださったので、ありがたいなと思っています。

(泉佐野市の視察日に次回日程を合わせることを確認。)

次回の定例教育委員会の時間については公示の必要がありますので後ほど決めてご連絡させていただきます。

事務局

そのほかいかがでしょうか。

角課長

給食費について報告があります。昨今の食材費の高騰などから、給食費の改定を考えています。給食費の重要事項について考えるにあたり、給食センター運営委員会に諮問をして答申をいただく必要があります。そのため、先日運営委員会を開催し、諮問書について委員の皆様から意見を伺いました。やはり現状を委員の皆様もよくご存じのようで、値上げはやむなしという

意見がほとんどでした。その中でいろいろと意見をいただきましたので、いくつか紹介します。まず、今回値上げをすることで、今後さらに物価が高騰した時に、またすぐ値上げをするというというのは避けたほうがいいのではという意見がありました。それとは反対の考えになるかもしれませんが、何年かに1度くらいは給食費の金額を見直したほうが良いという意見もありました。これについては、平成27年に給食センター方式にしてからずっと給食費の変更がなかったのもひとつ問題があったのではないかと教育委員会のほうでも考えていますので、今後どのようにするかをこの機会に考えようと思っています。また、運営員会では毎年必ず残菜の問題が挙がるのですが、給食費を値上げするにあたって、残菜の問題に一層取り組む必要があるという意見がありました。ほかにも、魚食の推進など境港市が独自に取り組んで努力している部分をしっかりPRしたうえで値上げに踏み切るべきではという意見がありました。あとは、やはりどうしても保護者の負担が上がることとなりますので、保護者にしっかりと説明しないといけないという意見がありました。以上のような意見が委員の皆様から出ました。今回、方向性について諮問させていただいたのですが、今後、運営委員会から、諮問について出た意見をまとめて、どういった方向で行くか答申していただきます。そのうえで、教育委員会で新しい単価を最新の情報をもとに再度算出し、来年度に向けて給食費について決めていこうと考えております。このことについて、教育委員会委員の皆様にもご承知いただけたらと思います。

事務局

そのほかいかがでしょうか（質問等なし）。

【5. 閉会】

山本教育長

それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。